

日本株投資戦略2月号

-10～12月の決算発表スタート-

令和3年2月1日

アイザワ証券 市場情報部

2021年2月1日発行／審査番号：210201-B2

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa

- ・ 1月の株式市場
- ・ 主要指標の月間騰落率
- ・ 2 極化相場
- ・ 上場来高値更新銘柄
- ・ 決算発表スケジュール
- ・ 経済指標
- ・ 日経平均と投資主体別動向
- ・ 今月のストラテジー
- ・ 今月の参考銘柄
 - 日本電産
 - 富士通
 - アドバンテスト
 - エムスリー
 - 新光電気工業
 - TOWA
 - 大林組
 - 三菱UFJフィナンシャルグループ
 - MS&ADインシュアランスグループ

国内市場データ

	価格	移動平均線(%)		騰落率(%)			昨年来高値	昨年来安値
		25日	200日	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月		
日経平均	27,663	▼0.8	17.3	0.8	20.4	27.4	28,979	16,552
TOPIX	1,808	▼1.1	11.0	0.2	14.5	20.9	1,873	1,236
東証2部	7,016	3.8	10.5	6.8	15.2	12.7	7,484	4,817
JASDAQ	3,774	0.3	7.7	1.5	6.4	12.2	3,965	2,783
マザーズ	1,208	▼1.2	11.4	1.0	3.2	26.2	1,365	557

出所：Quick、円、前月末比

東証1部月間パフォーマンス				円、%
上昇率上位	終値	値上がり率		
3004	神 栄	1,648	103.2%	
5981	東京網	1,291	70.3%	
2804	ブルドック	2,363	64.7%	
3751	日本アG	1,203	55.0%	
9501	東電力HD	401	47.4%	
7214	GMB	1,040	44.2%	
4552	JCR7ファーマ	3,450	41.6%	
8698	マネックスG	540	39.9%	
6753	シャープ	2,174	39.0%	
4434	サーバーワークス	5,690	38.9%	
6200	インソース	2,355	38.3%	
7060	ギークス	1,580	37.4%	
9418	USENNEXT	1,844	36.9%	
7354	DmMiX	3,490	33.1%	
1419	タマホーム	1,917	30.2%	
6699	ダイヤHD	1,516	29.5%	
3387	クリスHD	802	29.4%	
4433	ヒコムHD	1,829	29.3%	
6058	ベクトル	1,280	28.3%	
7731	ニコン	832	27.8%	

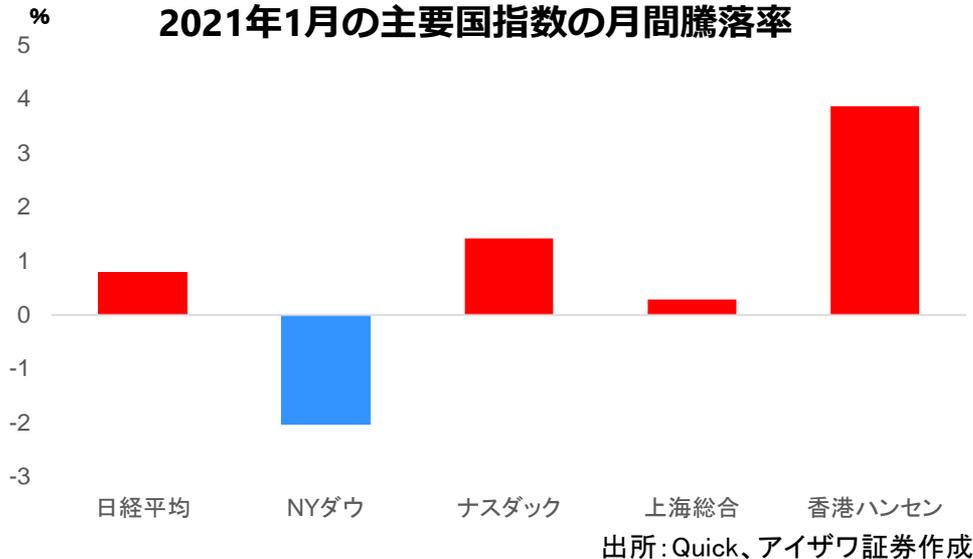
新興市場月間パフォーマンス				円、%
上昇率上位	終値	値上がり率		
6907	ジオマテック	1,313	206.8%	
2586	フルッタフルッタ	350	97.7%	
4582	シンバイオ	690	82.1%	
7863	平 賀	700	75.9%	
5939	大谷工業	8,830	74.5%	
7049	識 学	2,217	69.5%	
6612	バルムューダ	8,250	68.4%	
8257	山陽百	2,627	66.3%	
7043	アルー	959	62.5%	
6840	AKIBA	6,920	61.7%	
7928	旭化学	944	59.5%	
6627	テラプロ	1,130	58.3%	
4764	NexusB	264	55.3%	
2927	AFC-HD	1,064	53.3%	
6347	プラコー	1,627	50.1%	
2425	ケアサービス	815	47.9%	
7352	BEンジニア	1,444	44.7%	
4482	ウィルズ	1,598	39.3%	
2342	トランス	632	37.4%	
6193	パーチャレクス	762	37.3%	

出所：Quick、アイザワ証券作成

◆ 1月の国内株式市場では、日経平均は月間で0.8%の上昇の2万7663円、TOPIXは▼0.6%の1808ポイントで終えた。日経平均は1月14日には約30年ぶりとなるバブル後高値となる2万8979円をつけるなど上値を試す展開であったが、月後半になると調整が入り小幅上昇で終えた。月末には主要企業の10-12月期の決算発表がスタートしており、ハイテク企業を中心に通期業績の上方修正を発表する企業が目立ったが、決算発表後に下落した銘柄が目立った。

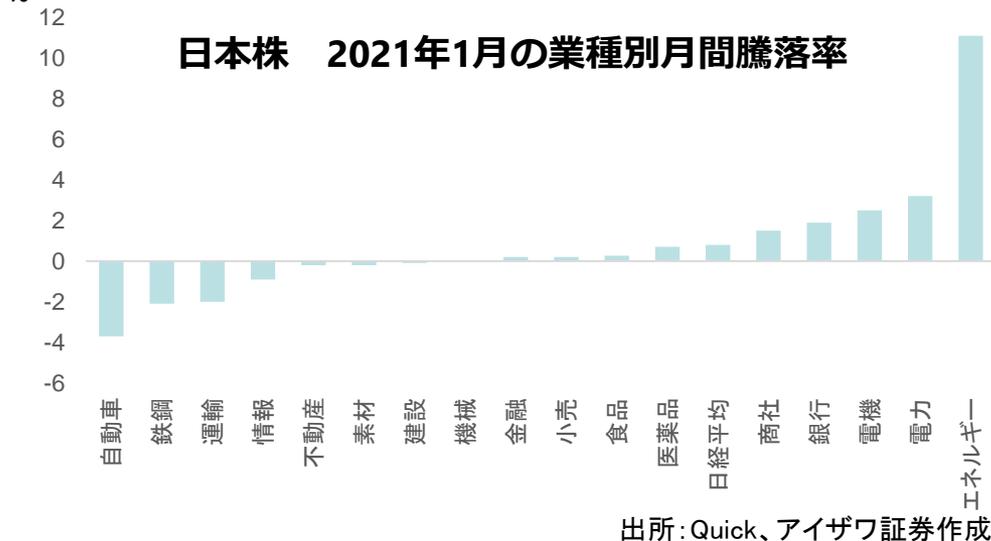
◆ 新興市場ではJASDAQ、マザーズともに日経平均を上回る上昇率であった。このところ新興市場の株価が軟調であったことや大型グロース株の上値が重くなったことから個人投資家を中心に新興株を物色する動きとなった。

2021年1月の主要国指数の月間騰落率



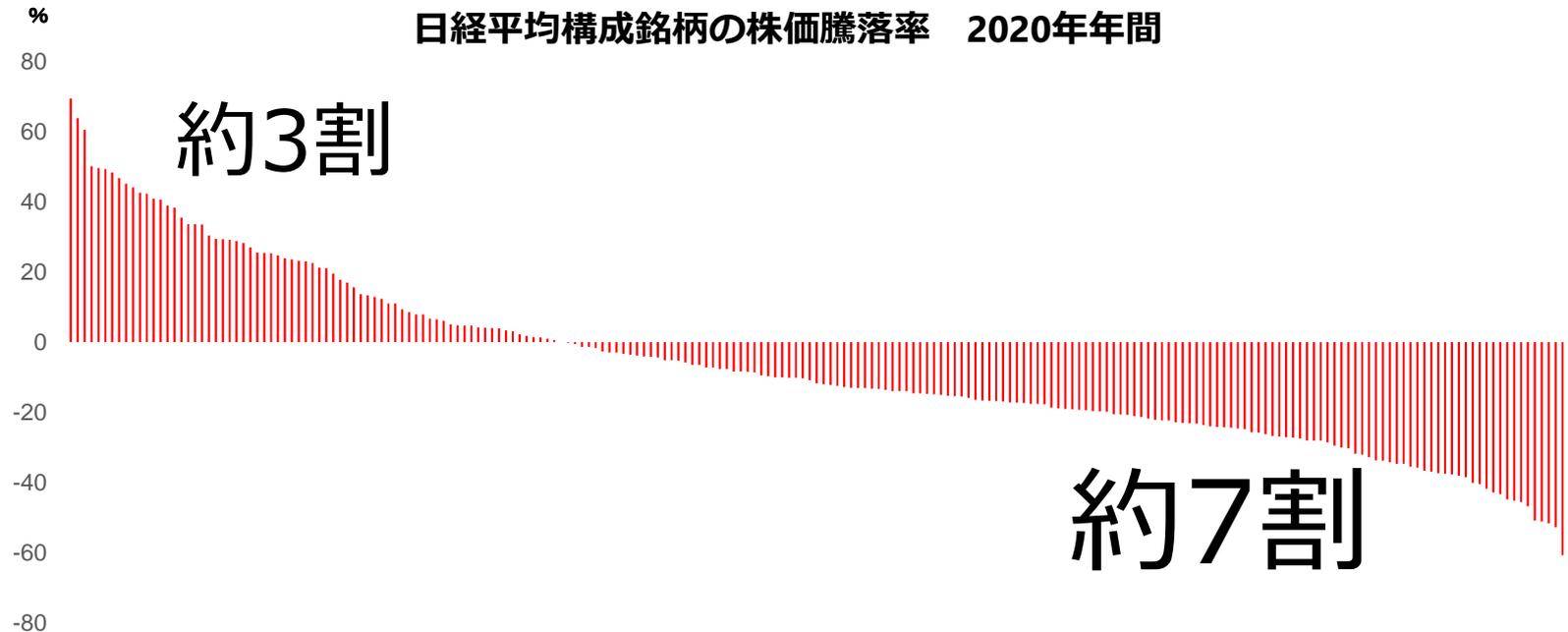
◆ ほぼ他の指数平均並み：1月の主要国における株価指数はNYダウを除き上昇した。なかでも香港ハンセンの上昇が目立つ。NYダウは下落したものの、ハイテク銘柄が多いナスダックは上昇しており、米国市場全体が弱かったというよりは大型オールドエコノミー銘柄の株価が軟調であったというところであろう。日経平均は他の指数と比較して、可もなく不可もなくほぼ平均並みの推移であった。

日本株 2021年1月の業種別月間騰落率



◆ エネルギーが大幅上昇：1月の業種別月間騰落率ではエネルギーが月間で10%以上の上昇となった。電力不足の懸念から電力が物色されて業種別騰落率で2位となった。一方で、半導体不足から減産報道が伝わった自動車の下落が目立った。

2極化相場



出所: Quick、アイザワ証券作成

- ◆ 昨年の日経平均はおよそ30年ぶりにバブル後高値をつけた。しかしながら、昨年の相場の大きな特徴は、上がる銘柄と下がる銘柄が2極化したことである。日経平均構成銘柄の昨年1年間の騰落率をみると、実に3割程度の銘柄しか上昇しておらず、7割程度の銘柄は下落していた。ファーストリテイリング、ソフトバンクグループ、東京エレクトロンなど日経平均への寄与度が高い銘柄が大きく上昇して日経平均の上昇を牽引した。コロナ禍において、企業の業績は勝ち組、負け組がはっきりと出ている。コロナ禍相場では銘柄全体が上昇するという訳ではなく、限られた銘柄のみが上昇しており、この傾向は続くと思われる。従来にも増して銘柄の選択が重要となる相場が続くといえよう。

1月上場来高値更新の銘柄（東証1部）

コード	銘柄名	日付	上場来高値
2130	メンバーズ	2021/1/12	2831
2175	SMS	2021/1/8	4225
2317	システナ	2021/1/8	2255
2374	セントレアHD	2021/1/25	1069
2413	エムスリー	2021/1/8	10675
2471	エスボール	2021/1/26	960
2801	キッコーマン	2021/1/21	7670
2819	エバラ食品	2021/1/14	2547
2925	ビックス	2021/1/20	4075
2980	SREHD	2021/1/4	4415
3148	クワイートSDH	2021/1/13	4010
3186	ネクステージ	2021/1/8	1600
3288	オーブハウス	2021/1/19	4345
3360	シップHD	2021/1/25	6160
3433	トーカロ	2021/1/14	1634
3563	シロ-GHD	2021/1/4	3970
3769	GMO PG	2021/1/26	16060
3837	アドソル	2021/1/6	3450
3880	大王紙	2021/1/8	2133
3922	PRTIMES	2021/1/19	4815
3937	Ubicom	2021/1/4	4070
4063	信越化	2021/1/25	19710
4186	応化工	2021/1/14	8040
4187	大有機	2021/1/14	4275

コード	銘柄名	日付	上場来高値
4307	NR I	2021/1/14	4050
4369	トリミカ	2021/1/14	20170
4390	i p s	2021/1/26	3095
4443	Sansan	2021/1/20	9670
4519	中外薬	2021/1/12	6435
4751	サイバエージ	2021/1/25	7620
4812	I S I D	2021/1/25	4015
4919	ミルボン	2021/1/26	6870
4923	コタ	2021/1/18	1578
4971	メック	2021/1/14	2626
4975	J C U	2021/1/26	4095
5344	MARUWA	2021/1/14	12360
5384	フジミインコ	2021/1/25	4550
5857	アサヒHD	2021/1/25	4390
6005	三浦工	2021/1/14	6350
6028	テクノプロHD	2021/1/8	9290
6035	IRJ HD	2021/1/22	19550
6036	KeePer技	2021/1/6	2419
6062	チャームケア	2021/1/22	1488
6070	キャリアリンク	2021/1/21	2764
6095	メドピア	2021/1/4	8850
6099	エラン	2021/1/25	1736
6101	ツガミ	2021/1/26	1899
6134	F U J I	2021/1/21	2925

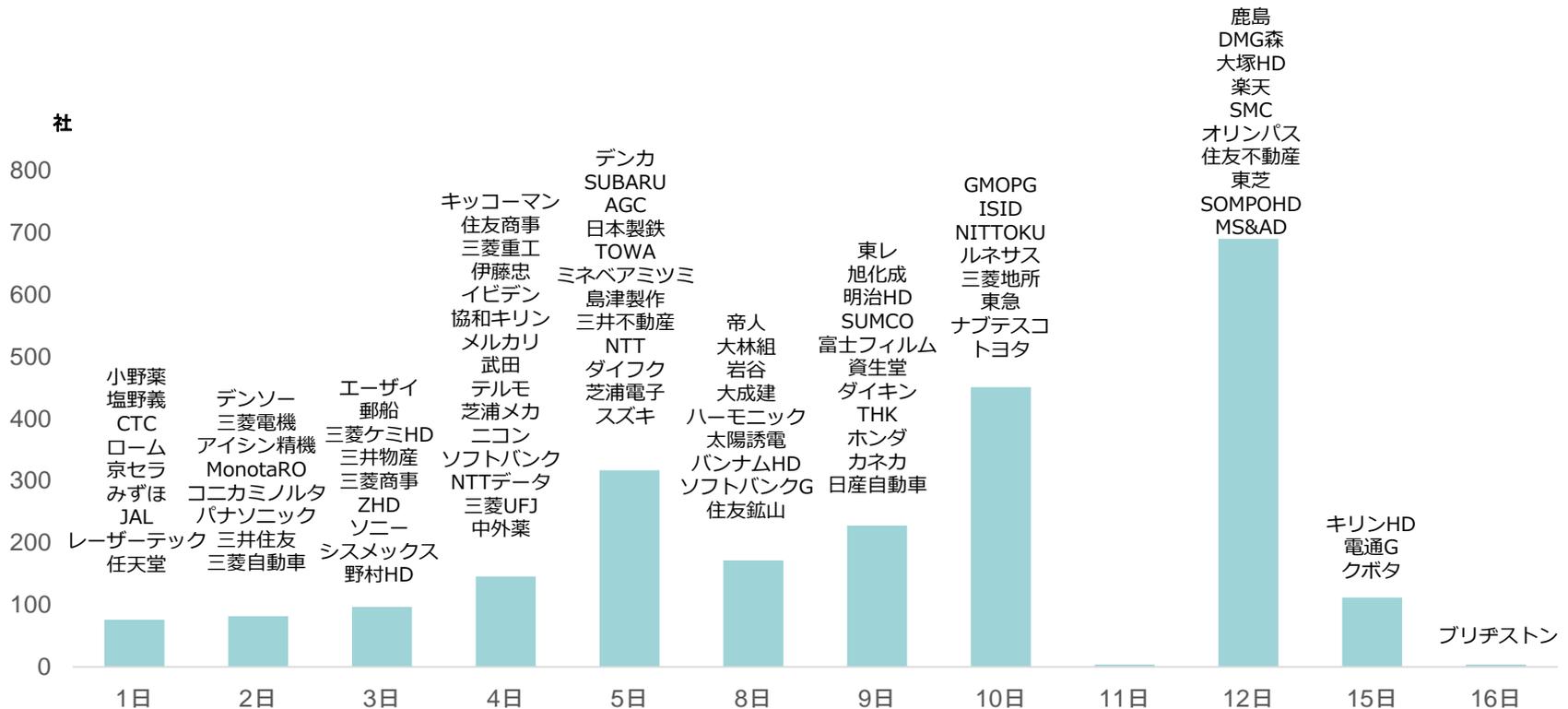
コード	銘柄名	日付	上場来高値
6146	ディスコ	2021/1/15	38950
6197	ソラスト	2021/1/25	1681
6199	セラク	2020/10/21	2792
6200	インソス	2021/1/26	2351
6201	豊田織機	2021/1/14	8700
6273	S M C	2021/1/14	69860
6323	ローツェ	2021/1/21	9050
6326	クボタ	2021/1/22	2441.5
6370	栗田工	2021/1/14	4670
6383	ダイフク	2021/1/13	13500
6387	サムコ	2021/1/25	4260
6532	ベイクレント	2021/1/22	19690
6594	日電産	2021/1/26	14975
6645	オムロン	2021/1/14	10040
6845	アズビル	2021/1/14	6120
6869	シスメックス	2021/1/12	13310
6920	レーザーテック	2021/1/14	15690
6951	日電子	2021/1/14	5250
6965	ホニクス	2021/1/14	6620
6966	三井ハイテ	2021/1/13	4670
6981	村田製	2021/1/26	10780
7033	M S O L	2021/1/6	2227
7059	コブHD	2021/1/25	4205
7085	カーブスHD	2021/1/26	835

コード	銘柄名	日付	上場来高値
7354	DmMiX	2021/1/22	3645
7358	ホビーズH	2021/1/26	2900
7550	ゼンショーHD	2021/1/26	2939
7679	薬王堂HD	2021/1/12	2913
7701	島津製	2021/1/14	4265
7734	理計器	2021/1/12	3250
7839	SHOEI	2021/1/19	4265
7944	ローランド	2021/1/25	4140
7988	ニフコ	2021/1/8	4160
8001	伊藤忠	2021/1/14	3177
8035	東エレク	2021/1/26	45170
8088	岩谷産	2021/1/13	7470
8155	三益半	2021/1/14	3235
8255	アクアル	2021/1/12	5340
8439	東センチュリー	2021/1/26	9340
9058	トランコム	2021/1/8	9890
9099	C&FロジックHD	2021/1/12	2204
9450	ファイバ-GT	2021/1/5	2680
9517	イーレックス	2021/1/4	2199
9621	建設技研	2021/1/25	2573

出所：Quick、アイザワ証券作成、
2021年1月26日現在

- ◆ 2021年1月は東証1部上場銘柄のなかでは92銘柄が上場来高値を更新した（2021年1月26日現在）。2極化相場のなかで、信越化学、ディスコ、ローツェ、レーザーテック、日本電子、東京エレクトロン、三益半導体工業などの半導体関連のようなハイテク銘柄に上場来高値をつける銘柄が目立った。

10-12月の決算発表スケジュール



出所: Quick、報道ベース、日程は変更となる可能性あり。アイザワ証券作成

- ◆ 1月下旬から企業の10-12月期決算発表が本格化している。2月に入っても決算発表は続き2月16日に主要企業の決算はほぼ出揃う。主要企業では1日にローム、レーザーテック、任天堂、2日にデンソー、三菱電機、パナソニック、3日にエーザイ、ソニー、4日にイビデン、武田、ソフトバンク、5日にNTT、ダイフク、第2週には8日に大林組、ソフトバンクグループ、9日にSUMCO、ホンダ、日産、12日に鹿島、東芝が控えている。

経済指標

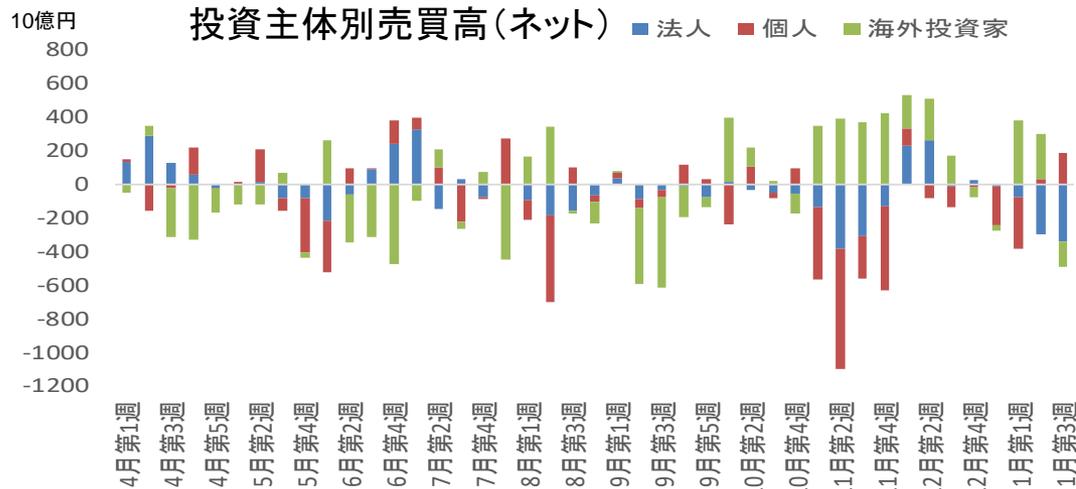
IMFによる世界経済のGDP成長見通し

	2019	2020推	2021予	2022予	前回予想比	
					2021	2022
世界	2.8%	▼3.5%	5.5%	4.2%	0.3pt	0.0pt
先進国	1.6%	▼4.9%	4.3%	3.1%	0.4pt	0.2pt
米国	2.2%	▼3.4%	5.1%	2.5%	2.0pt	▼0.4pt
EU	1.3%	▼7.2%	4.2%	3.6%	▼1.0pt	0.5pt
日本	0.3%	▼5.1%	3.1%	2.4%	0.8pt	0.7pt
英国	1.4%	▼10.0%	4.5%	5.0%	▼1.4pt	1.8pt
新興国 & 途上国	3.6%	▼2.4%	6.3%	5.0%	0.3pt	▼0.1pt
（うちアジア）	5.4%	▼1.1%	8.3%	5.9%	0.3pt	▼0.4pt
中国	6.0%	2.3%	8.1%	5.6%	▼0.1pt	▼0.2pt
インド	4.2%	▼8.0%	11.5%	6.8%	2.7pt	▼1.2pt
ASEAN5	4.9%	▼3.7%	5.2%	6.0%	▼1.0pt	0.3pt
世界の貿易量	1.0%	▼9.6%	8.1%	6.3%	▼0.2pt	0.9pt
先進国	1.4%	▼10.1%	7.5%	6.1%	0.4pt	1.0pt
新興国	0.3%	▼8.9%	9.2%	6.7%	▼1.0pt	0.8pt

出所：IMF、推、予はIMF推定、予想、ptはポイント、アイザワ証券作成

- ◆ 世界経済の状況：1月にIMFより発表された世界経済のGDP見通しでは、主要地域における2020年のGDP成長は、いち早く新型コロナウイルスの封じ込めに成功した中国のみが+2.3%とプラスで終えた。中国以外の主要国では特に欧州地域が新型コロナによる経済の落ち込みに苦しんだ。
- ◆ 2021年の見通しでは、前年比+5.5%の成長見通しと前回予想よりも0.3ポイント引き上げられている。2021年に世界よりもGDPが伸びる地域は米国+5.1%、中国+8.1%、インド+11.5%などがある。前回予想よりも伸びる地域は米国+2.0ポイント、日本+0.8ポイント、インド+2.7ポイントである。

日経平均と投資主体別売買高



◆ 短期の調整が入るも長期の上昇トレンドは継続：1月末の日経平均は2万7663円で終え、5日移動平均線、25日移動平均線を下回っており、短期の調整が入った。一方で、200日移動平均線は依然として上向いており、長期の上昇トレンドは継続しているといえる。

◆ 調整局面で個人が買い越し：1月の投資主体別売買の動向は、昨年11月から買い越しが目立った海外投資家が売り越しとなった。こうしたなか、個人投資家が久しぶりに買い越しとなり、相場の調整局面で個人が買う動きとなった。

今月のストラテジー

◆ 企業業績は好調だが地合いが悪い

1月の日経平均は月中ごろにおよそ30年ぶりのバブル後高値をつけ、2万9000円を伺う展開も予想されたものの月末にかけて失速して日経平均は2万8000円割れで終了した。1月下旬から主要企業の10-12月期決算がスタートしているが、肝心の企業業績についてはハイテク企業を中心に想定以上のものが多く、通期見通しを上方修正する企業が多く見られた。しかしながら、株式市場では好材料には発表直後に一時的に反応しても、材料出尽くしとみなされて売りに押される動きが目立った。日経平均は1月にバブル崩壊後になかなか抜けなかった2万8000円をあっさりと抜いたが、これは金融緩和による金余りが生んだ過剰流動性相場の影響である。

◆ 上値の重い株価も本決算発表を迎える4月以降に上昇を想定

過剰流動性相場によって、株価は企業のファンダメンタルバリューを無視して歴史的な高値近辺にまで上昇した。このことから、株価の調整は想定内の動きともいえる。当面は10-12月の決算で好業績が発表されても地合いの悪さに押されて株価は軟調に推移、本決算の発表を迎える4月以降に来期以降の業績回復を織り込む形で株価は上昇するシナリオを想定する。

◆ 2極化相場は続く。グロース株の押し目買いを継続

既に発表された10-12月期の企業決算では、半導体、電子部品、DX（デジタルトランスフォーメーション）関連銘柄に好決算が目立った。半導体の生産にややピークアウト懸念も指摘され、株価は決算発表後に売られるなど材料出尽くし感がみられるが、半導体市場の成長はまだこれからである。5Gの大きな特徴には高速化、多接続、低遅延があるが、現在の5Gは高速化に焦点が当てられており、多接続、低遅延への取り組みは数年先となる。多接続はIoT、低遅延は自動車向けに欠かせない技術となるが、数年先に高速化、多接続、低遅延のサービスが揃った際には5Gの普及に弾みがかかることが予想され、その際には半導体数量の爆発的な増加、本格的なDX社会の到来が期待される。半導体、DXの将来の姿を10とすれば、現在は2とかその程度のものだろう。今後10年間で人類はいままで経験しなかった社会に突入する。社会が大きく変化するなかで、現在はその入り口に立っただけにすぎないだろう。

◆ 投資スタンス

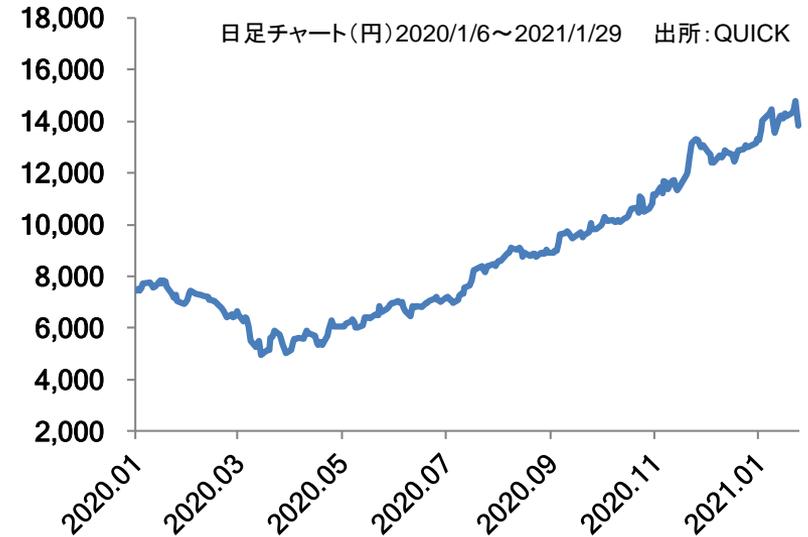
投資スタンスとしては、グロース株の押し目買いを継続したい。過剰流動性相場のなかで調整局面をこなしながら値固めをして日経平均はバブル後高値を再度取りに行くことを想定しているが、その際の相場の牽引役は昨年に上場来高値をつけたようなグロース株が主役であるとみており、調整局面ではグロース株の仕込みどころとみている。

市場情報部 横山 泰史

- ・ 日本電産
- ・ 富士通
- ・ アドバンテスト
- ・ エムスリー
- ・ 新光電気工業
- ・ TOWA
- ・ 大林組
- ・ 三菱UFJフィナンシャルグループ
- ・ MS&ADインシュアランスグループ

株価:(2021/1/29)	13,850円
52週高値:(2021/01/26)	14,975円
52週安値:(2020/03/23)	4,837.5円
予想PER	67.6倍
PBR	8.25倍
予想配当利回り	0.43%
時価総額	82,585億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所:QUICK

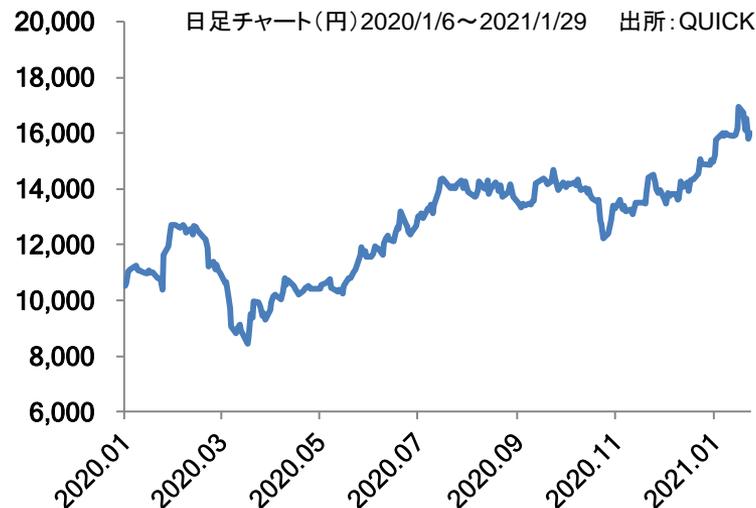


- ◆ 新事業として電気自動車 (EV)向けにトラクションモータ (走行モータ)、ギヤボックス、インバータを一体化したE-Axleを開発。今後のEV市場の成長の恩恵を受ける銘柄としての期待が高まる。
- ◆ 20年10-12月期の営業利益は前年同期比+47.5%の大幅増益を達成、通期の営業利益の予想は従来予想から+150億円の1550億円へと上方修正を発表した。(横山 泰史)

業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	14,754	—%	1,292	—%	1,298	—%	1,099	—%	186.5	52.5
2020/03 実績	15,348	4.0%	1,103	▼14.6%	1,069	▼17.6%	600	▼45.4%	102.1	55.0
2021/03 予	15,500	1.0%	1,550	42.8%	1,500	42.6%	1,200	105.3%	204.9	60.0

国際基準 (単位:億円、予:会社予想) EPS、配当1株当たり、2020年4月1日より1株を2株に株式分割を実施、遡及修正済) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	16,020円
52週高値:(2020/12/29)	17,250円
52週安値:(2020/03/23)	8,351円
予想PER	18.1倍
PBR	2.39倍
予想配当利回り	1.24%
時価総額	33,161億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部



出所:QUICK

- DX企業として脱皮すべくノンコア事業の売却など事業再編を進めている。同社の営業利益率は3%台と低いが、付加価値が高いDXビジネスを強化することにより10%台も視野に入るであろう。デジタルシフトの中核銘柄として注目。
- 20年10-12月期の決算では携帯販売事業の譲渡益+254億円など特殊要因を除いた本業の営業利益が前年同期比+35.3%の686億円と増益を達成、ここ数年で取り組んできていた事業の選択と集中の効果が始めている。(横山 泰史)

業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	39,524	▼3.6%	1,302	▼28.6%	1,617	▼33.3%	1,045	▼38.3%	512.5	150.0
2020/03 実績	38,577	▼2.4%	2,114	62.4%	2,285	41.3%	1,600	53.1%	791.2	180.0
2021/03 予	36,100	▼6.4%	2,370	12.1%	—	—%	1,770	10.6%	883.8	200.0

国際基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	8,290円
52週高値:(2021/01/20)	9,430円
52週安値:(2020/03/19)	3,335円
予想PER	26.4倍
PBR	6.81倍
予想配当利回り	1.14%
時価総額	16,544億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部



出所:QUICK

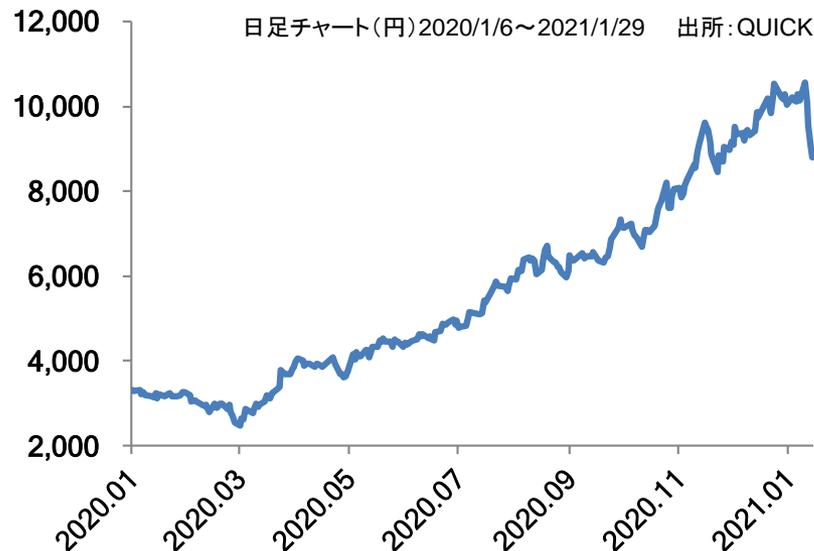
- 20年10-12月の売上高は前年同期比+11.7%の781億円、営業利益は同+6.9%の153億円と増収増益を確保、受注についても同+30.4%の951億円と大幅に増加しており、10-12月には半導体後工程への設備投資が活発化している。
- 会社側は2021.3期の通期の業績見通しについて、売上高が従来予想比+300億円の3050億円、営業利益は同+145億円の670億円とする上方修正を発表。(横山 泰史)

■業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	2,824	36.3%	646	164.1%	662	172.7%	569	214.8%	302.3	92.0
2020/03 実績	2,758	▼2.3%	587	▼9.2%	585	▼11.5%	535	▼6.1%	270.1	82.0
2021/03 予	3,050	10.5%	670	14.1%	640	9.3%	615	14.9%	—	95.0

国際会計基準(単位:億円、予:会社予想) EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	8,811円
52週高値:(2021/01/08)	10,675円
52週安値:(2020/03/13)	2,319円
予想PER	199.3倍
PBR	34.11倍
予想配当利回り	0.11%
時価総額	59,804億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



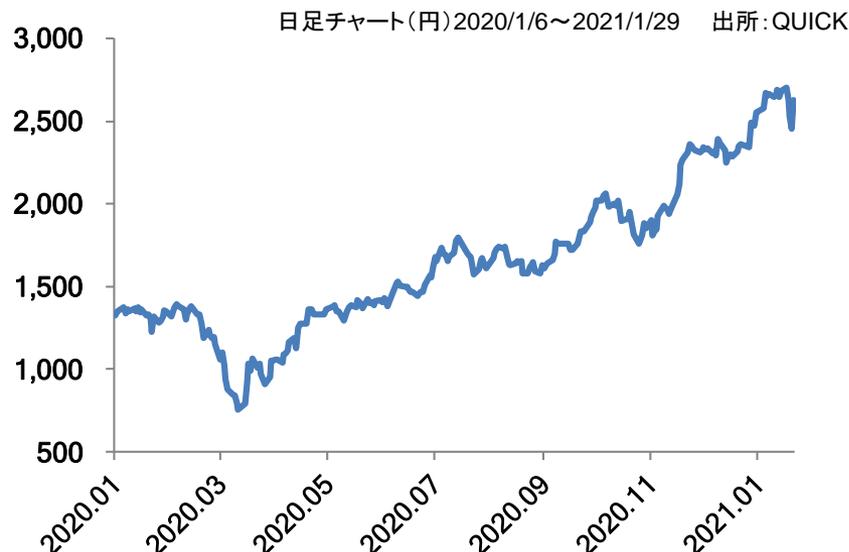
- 国内医師の約8割が会員登録している医師限定の無料インターネットサイト「MR君」が主力サービス。MR君の主な収益源は医師を相手とする製薬会社で高い収益性を誇る。
- 製薬会社のDX（デジタルトランスフォーメーション）化の流れが追い風となっており、第3四半期（10-12月の3ヵ月）の決算では、売上高は前年同期比+40.1%の487億円、営業利益は同+78.5%の185億円と力強い成長を達成。（横山 泰史）

■業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	1,130	19.7%	308	12.1%	309	12.6%	195	8.0%	30.2	7.0
2020/03 実績	1,309	15.8%	343	11.5%	346	11.9%	216	10.5%	31.8	8.5
2021/03 予	—	—%	—	—%	—	—%	—	—%	—	—

国際基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり、2021.3期は非公表) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	2,630円
52週高値:(2021/01/29)	2,839円
52週安値:(2020/03/23)	689円
予想PER	26.5倍
PBR	2.44倍
予想配当利回り	0.95%
時価総額	3,555億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



- ◆ 半導体パッケージの開発・製造をおこなう。半導体の性能を高める高付加価値なICパッケージの需要はサーバーを中心に当面年率で2桁の成長が予想され、新たな成長ステージの入り口に立ったといえよう。
- ◆ 2021.3期通期の業績予想の上方修正を発表。修正額は、従来予想比で売上高が+56億円、営業利益が+52億円である。(横山 泰史)

業績推移	売上高	営業利益	経常利益	純利益	EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	1,422 ▼3.3%	48 ▼1.0%	76 33.5%	25 ▼31.1%	18.7	25.0
2020/03 実績	1,483 4.3%	32 ▼33.4%	48 ▼37.1%	26 6.5%	19.9	25.0
2021/03 予	1,829 23.3%	187 479.3%	200 315.5%	134 398.1%	99.2	25.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/1/29)	1,926円
52週高値:(2021/01/15)	2,341円
52週安値:(2020/03/23)	600円
予想PER	28.0倍
PBR	1.73倍
予想配当利回り	0.83%
時価総額	482億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



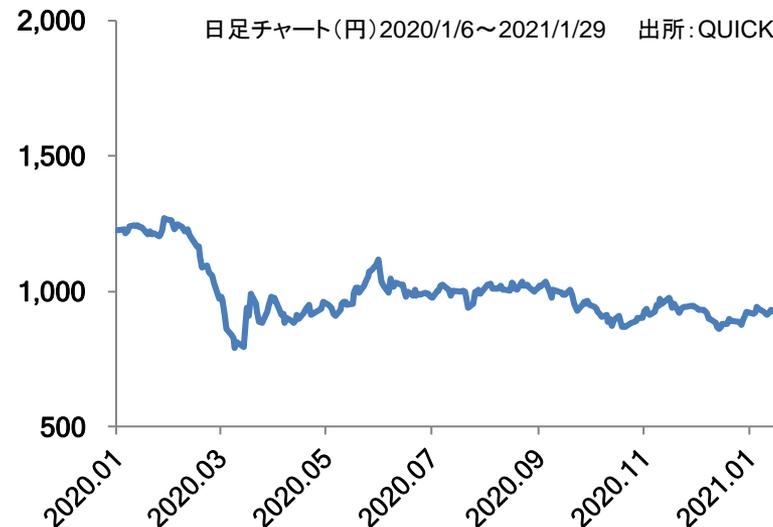
- 半導体製造装置メーカー。樹脂により半導体と外部を電氣的に絶縁して封止するコンプレッションモールド装置はハイスピードな成形が可能で不良品が少ないことから需要が拡大。
- 米中半導体摩擦で揺れた半導体後工程への投資は昨年10月以降活から活発化している。コンプレッションモールド装置の生産増強に対応すべく、マレーシアで延床面積が旧工場の3倍となる新工場を竣工。(横山 泰史)

業績推移	売上高	営業利益	経常利益	純利益	EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	283 ▼8.8%	9 ▼74.6%	9 ▼73.5%	9 ▼71.0%	35.1	16.0
2020/03 実績	253 ▼10.7%	8 ▼13.3%	6 ▼31.1%	4 ▼58.0%	14.8	16.0
2021/03 予	268 6.0%	23 184.4%	25 278.7%	17 4.6倍	68.7	16.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	876円
52週高値:(2020/02/10)	1,277円
52週安値:(2020/03/23)	772円
予想PER	6.6倍
PBR	0.73倍
予想配当利回り	3.65%
時価総額	6,320億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK

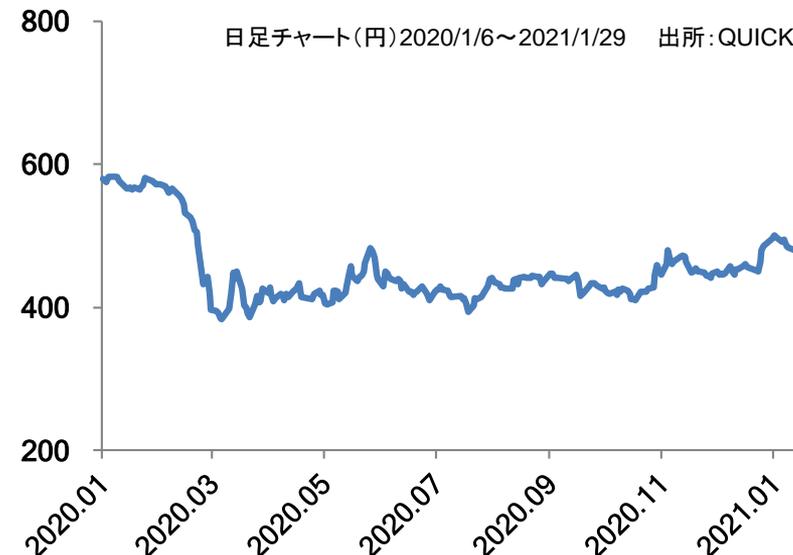


- ◆ 建設大手（スーパーゼネコン）の一角、国内建設工事（建築、土木）が主力、海外や不動産にも展開。都市再開発や防災対策など建設工事需要は堅調。
- ◆ 2021年3月期2Q（第2四半期）累計実績は 減収・減益、大型工事の端境期で、新型コロナ影響を一定織り込み。通期会社予想は減収・減益だが、高進捗。単体工事繰越高は1.7兆円弱に増加、施工が順調に進めば上振れ余地。（水口 活也）

業績推移	売上高		営業利益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	20,396	7.3%	1,554	12.8%	1,630	13.3%	1,131	22.1%	157.6	32.0
2020/03 実績	20,730	1.6%	1,528	▼1.7%	1,590	▼2.5%	1,130	▼0.1%	157.5	32.0
2021/03 予	18,600	▼10.3%	1,190	▼22.2%	1,260	▼20.8%	940	▼16.9%	130.9	32.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想) EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	469.3円
52週高値:(2020/01/09)	586.2円
52週安値:(2020/03/23)	380円
予想PER	10.9倍
PBR	0.36倍
予想配当利回り	5.32%
時価総額	63,740億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部



出所: QUICK

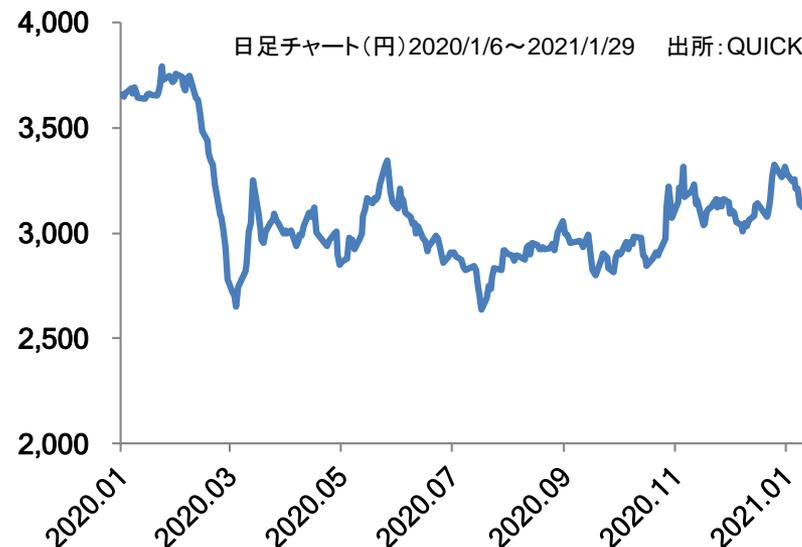
- ◆ 銀行大手（メガバンク）の一角、銀行、信託、証券、カード・ローンなどに展開。米国とアジアに地域銀行、モルガンスタンレーは持分法適用関連会社。
- ◆ 2021年3月期2Q（第2四半期）累計実績は 減収・減益、与信費用積み増しが主因だが、市場関連は好調。通期の会社純利益目標は増額修正（5000億円→6000億円）。財務健全性は維持されており、株価指標に割安感がある。（水口 活也）

■業績推移	経常収益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	66,974	10.4%	13,480	▼7.8%	8,726	▼11.8%	66.9	22.0
2020/03 実績	72,990	9.0%	12,357	▼8.3%	5,281	▼39.5%	40.9	25.0
2021/03 予	—	—%	—	—%	6,000	13.6%	—	25.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/01/29)	3,004円
52週高値:(2020/02/06)	3,800円
52週安値:(2020/03/17)	2,590.5円
予想PER	12.1倍
PBR	0.62倍
予想配当利回り	4.99%
時価総額	17,828億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



- ◆ 国内損害保険大手の一角、自動車や火災など損害保険が主力だが、生命保険や海外保険にも事業展開。大型災害影響を収益多様化とリスク分散で吸収。
- ◆ 2021年3月期2Q（第2四半期）累計実績は、減収・経常増益。通期会社予想は利益増額修正、新型コロナ影響の下振れと資金運用の改善を織り込み。配当予想は据え置きだが、自己株取得200億円を発表、株主還元拡充を再開。（水口 活也）

■業績推移	経常収益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	55,004	5.4%	2,908	37.5%	1,927	25.1%	328.7	140.0
2020/03 実績	51,683	▼6.0%	1,577	▼45.8%	1,430	▼25.8%	248.3	150.0
2021/03 予	—	—%	2,000	26.8%	1,400	▼2.1%	247.6	150.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：藍澤証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第6号

（本社）東京都中央区日本橋1-20-3

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）



株式投資の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大1.265%（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大1,650円

コールセンター発注 約定代金が55万円以下の場合1,650円、約定代金が55万円超3,000万円以下の場合3,300円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大1.265%（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。

本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。

結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。

執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。